

学校運営協議会

令和5年度 第2回学校運営協議会

- 開催日時 令和5年12月19日(火) 16:00～17:00
- 開催場所 佐川高等学校 視聴覚室(南校舎3F)
- 出席委員 濱田 陽治(佐川町教育長)
織田 誠(越知町教育長)
岩本 敏彦(日高村佐川町学校組合立教育長)
横田ちえみ(P T A会長)
渡邊 紀(佐川高等学校元校長)
森 隆彦(佐川高等学校長)

○会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議・報告事項
 - ①令和5年度 学校経営計画中間報告について
 - ②令和5年度 学校評価アンケート集計結果について
 - ③「ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり」について
 - ④ その他
- (4) 閉会

●協議・報告事項及び質問意見概要

- ・学校経営計画の中間評価として、I C T教材の「すらら」の活用によって基礎力診断テストの成績に向上の傾向もみられるが、個人によっては「やらされ感」もある。
- ・小中学校で先行して行っている越知町織田教育長から中学校での「すらら」の実践で成果を上げている報告があった。これからはI C Tについて、より身近に感じ使いこなしている中学生が高校生となるので高校でも内容の精選や指導方法の研究が必要となる。
- ・1回目のこの会で、校長より昨年度は国公立大学に進学した生徒がいなかったことを報告したが、本年度は推薦入試で2名の生徒が県内の国公立大に合格したことを報告した。また、仁淀川長役場に採用されたことも報告した。委員からも地元の職員として活躍してほしいという意見があった。
- ・学校評価アンケートの結果を示した。次回3回目の会で、委員に意見をもらい、今後に生かしていくことを伝えた。
- ・「生徒支援の側面からの授業」の考えのもと、現在、高知大学教職大学院に研修に出ている本校教諭を中心として、校内研修、研究授業を進めている内容を説明した。今回は「ユニバーサルデザイン」の考え方から、ひとりの生徒へのほめる言葉がクラス全体の学びあいを広げていく例を紹介した。